地区とのタウンミーティング　議事概要

日　時	令和６年２月２日（金）午後６時～午後７時
地　区	梅が枝地区
場　所	梅が枝住宅第一集会所
参加人数	１１人

テーマ1　未来ビジョンについて

主 旨（区長）

- 人口増加に向けて大学誘致など市長の考えを聞きたい。
- 高齢化が進んでおり、公共施設への利便性を確保していただきたい。

市 長

- 大学については、近隣で見てもＪＲ沿線の大学が閉校している現状がある。京阪沿線に大学が集中しつつあり、ＪＲ沿線には大学の誘致は厳しい状況。
  本市は、令和５年度末の転入転出の全国データーで転入が２９９人上回っており、北河内７市ではトップであった。引っ越してこられる方が多く、子どものいる３０～４０歳代の方が中心である。継続して家族連れの方に住んでいただけるような施策を講じていきたいと思う。工業都市や商業都市にすることは難しく、今後はより良い住環境のまちとして継続的にまちづくりを進めていきたい。
- 梅が枝地区については、築５０年が経過していることから、府と協議をして再開発を求め、より住みやすいまちにしていきたいと考えている。
  郡津駅、交野市駅にも歩いて行ける距離であり、来年度以降は、交野市駅を起点として有償のワゴン車を走らせる予定である。
- 茄子作のコーナンから道路の延伸を計画中である。沿道の整備が伴うため調整中であるが、し尿処理施設の老朽化に伴う建替え後、道路整備をした後の土地について道の駅等の活用も検討していく。
- 京阪バス路線については、令和６年度中は維持されるが、令和７年度以降は、現状白紙の状態で協議中である。ゆうゆうバスを運行していた京都京阪バスの運転手の方が、現在、寺、神宮寺、東倉治を走っているワゴン車の運転をされている。有償無償についても検討し、来年度、関係各所と慎重に進めていきたい。
- イズミヤについては、建屋は三栄商事が所有しており、土地は別に所有者がいる。イズミヤと個人店が撤退し、今後の店舗については調整中という状況。市としては、隣接する市有地に移動販売車が置けるように工事を進めており、移動販売業者の公募も行っている。

テーマ２　防災対策について

主 旨（区長）

- 市の防災対策について聞かせてほしい。
- 主に体育館が避難所となるため、地区別の避難者のスペースを今後の課題として考えていただきたい。
- 防災備蓄について、枚方市などでは公園の下に貯水池や備蓄倉庫があると聞くが交野はどうか。
- 交野の山は危険であるため、山の対策をお願いしたい。

市 長

- 梅が枝地区については、建物は耐震性があり倒壊等は余程のことがない限り考えにくいが、火災なども想定されるため、市としては避難所の整備はきっちり行いたいと考えている。
  この地区は浸水もほぼないと思う。避難所についてはみらい小学校の一部建物を壊して避難施設や公園の整備を行い、地域の避難所を確保していきたい。
  市全体の対策としては、全避難所のエアコン整備を来年度から着手し、令和６～８年度の間にエアコン設置を完了したい。また被災地のトイレ問題を考慮し、トイレトラックの購入についても議会の議決を得ている状況。補助金等を活用して購入し、大規模災害の対応として各地に派遣できるようにしたい。
- 校区ごとに一部、分散備蓄をしているが、今後は、国からの補助金を利用し市有地に防災倉庫や防災施設の整備を進めたい。備蓄品についても防災倉庫等の建設により充実する施策を進めていきたい。
- この地区には山の影響はないと考える。他の地区で山の付近にお住まいの方には特別警戒区域等があるため、避難・移転をお願いし、一部土砂対策を講ずるところもある。

テーマ３免除川の橋の架け替えについて

主 旨（区長）

- 今後の予定を知りたい。防災の観点からも橋は必要であると考える。

市 長

- 当該橋については、当時、調査の結果、耐震性がないと判断され取り壊された。
  橋の南側の土地の問題が解決すれば、多額の費用をかけても橋の架け替えを行いたい。
  当時、橋の架け替えについて地域と約束をしており、この付近には一本橋はあるが行き止まりの所にあり、トータル的に考えた時に安全面でももう一本あった方が良いと考える。
  不動産鑑定に基づく価格でなければ土地の購入ができないが、現在、高い価格が示されているため購入ができない状況にある。
  今後、地権者が農地を売却するタイミングがあれば、橋の架け替えに向けて進めていきたい。

意 見

- 交野市駅は交野の顔であり、交野市駅界隈を賑やかにしてほしい。
  →[市長] 交野市駅前は、猛暑対策事業として大阪府の補助金を活用しロータリーをきれいにしている。今後、外出支援として利便性の向上を図り、市役所は移転せず耐震工事を行う予定であることからこの辺りの賑わいは保たれると考える。
  イズミヤの後の商業施設については、引き続き注視していきたい。
- 歩道の入口の段差を解消してほしい。
  →[市長]道路には様々な構造があり種々ご意見はあるが安全面での配慮もありご理解いただきたい。
- みらい小学校に通学している児童にはスクールバスはあるのか。
  →[市長]市内の小学校への通学路は概ね２キロ圏内でありスクールバスはない。今、学校の統廃合が行われており、令和６年度中に対象世帯の聞き取りを行い、意向を最大限尊重していきたい。
- 地区内の道路上に線を引いてほしいと言ったが難しいと聞いている。
  道路全体が市に移管されているのか。
  →[市長]梅が枝地区内は大阪府の土地と認識しているが、何故か道路の一部が市に移管されている。
  極端に言えば６ｍ道路であれば駐車禁止の取り締まり外である。道路外側線を引けば駐車車両を取り締まることができるが、他の６ｍ道路にも全て線を引かなければならず難しいと考える。地区で何らかの対応ができないか。今後、建替え等の話があった際は、大阪府と道路部分についても整理対象になると考える。